

May 7, 2019

【前日の為替概況】ドル円、ダウ平均の下げ幅縮小(▲471 から▲28)で 110.96 円まで強含み

6日のニューヨーク外国為替市場でドル円は続落。終値は110.76円と前営業日NY終値(111.10円)と比べて34銭程度のドル安水準だった。トランプ米大統領は5日、ツイッターで「中国からの輸入品2000億ドル相当に対する追加関税を10日に10%から25%へ引き上げる」と表明。米中貿易摩擦が激化し世界経済が一段と減速するとの警戒感が高まった。東京市場では一時110.28円と3月28日以来の安値まで売り込まれる場面があった。ただ、NY市場に限れば狭いレンジ取引に終始した。一時は471ドル下落したダウ平均が28ドル安程度まで大幅に下げ渋ったことを受けて110.96円と日通し高値を付けた。半面、前週末の安値111.07円が目先戻りの目処として意識されると上値が重くなった。ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表が「米政府は10日に対中関税を引き上げる」と述べたほか、ムニューシン米財務長官が「中国との貿易協議の方向は大きく変わった」と発言したことも相場の重し。

ユーロドルは横ばい。終値は1.1199ドルと前営業日NY終値(1.1198ドル)と比べて0.0001ドル程度のユーロ高水準だった。米中貿易戦争に対する懸念が再燃し、米長期金利が低下するとユーロ買い・ドル売りが入り、1.1209ドルと日通し高値を付けた。

ユーロ円は4日続落したものの下値は堅かった。終値は124.07円と前営業日NY終値(124.45円)と比べて38銭程度のユーロ安水準。アジア時間に123.36円まで売り込まれたあとはじりじりと下値を切り上げる展開に。ユーロドルの上昇につれた円売り・ユーロ買いが出て124.30円まで反発した。

トルコリラは急落。トルコ最大都市イスタンブール市長選を巡り、選管当局が選挙の無効とやり直しを決定したと伝わると、同国の政局不安から通貨リラを売る動きが膨らんだ。ドルリラは一時6.1528リラ、リラ円は17.98円までリラ安に振れた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米中通商協議関連のヘッドラインに要警戒か

本日の東京市場のドル円は、米中通商協議に関連するヘッドラインに警戒する展開となる。

ドル円のテクニカル分析では、3日の安値111.07円と6日の高値110.96円の間に窓が空いており、この窓が埋められない限り、ダブル・トップ(112.09円・112.40円)による下落トレンド形成がメインシナリオとなる。

今週8日からワシントンで開催予定だった米中通商協議に関する報道は以下の通り。

6日早朝：トランプ米大統領(ツイート)

「中国からの輸入品2000億ドル相当に対する関税率を、10日から現行の10%から25%へと引き上げる」

6日午前：中国政府(ウォール・ストリート・ジャーナル紙)

「8日からの米中通商協議を中止する意向」

6日午後：中国政府

「米中通商協議へ代表団を派遣する可能性はある」

「100人規模の代表団ではなく、少人数になる可能性」

「劉鶴中国副首相が訪米するか否かは未定」

7日早朝：ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表

「米政府は10日に対中関税を引き上げる。中国代表団は9日に到着する。米国は中国との協議を打ち切らない」

7日早朝：ムニューシン米財務長官「中国との貿易協議の方向は大きく変わった」

本日も、米中通商協議に関する米政権と中国政府からの発言などのヘッドラインに要警戒となる。

ドル円の買い材料は、トランプ米大統領が日米通商協議の本格的な交渉を7月の参議院選挙後に先送りしたこと、本邦企業による海外企業買収に伴う5000億円規模の円売りの思惑、などが挙げられる。

ドル円の売り材料は、北朝鮮による飛翔体発射を受けた朝鮮半島の地政学リスクの再燃、トランプ米政権による対中制裁関税発動による米中通商戦争の勃発懸念、トランプ米政権(トランプ米大統領、ペンス米副大統領、クドロー米国家経済会議NEC委員長)による米連邦準備理事会(FRB)への利下げ圧力、イラン近海への米空母派遣を受けた中東の地政学リスク、などが挙げられる。

また、米財務省は、毎年4月の中旬頃に為替政策報告書を発表しているが、今年はまだなので、10日に予定されている対中関税発動に向けて要警戒となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

- 10:30 ◇ 3月豪貿易収支（予想：43.0億豪ドルの黒字）
- 10:30 ◇ 3月豪小売売上高（予想：前月比0.2%）
- 13:30 ☆ 豪準備銀行（RBA）政策金利発表（予想：1.50%で据え置き）
- 15:00 ◎ 3月独製造業新規受注（予想：前月比1.5%／前年同月比▲5.4%）
- 15:45 ◇ 3月仏貿易収支（予想：45億ユーロの赤字）
- 15:45 ◇ 3月仏経常収支
- 18:20 ◎ カンリフ・イングランド銀行（BOE）副総裁、講演
- 20:00 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、講演
- 23:00 ◇ 4月カナダ Ivey 購買部協会景気指数（予想：53.0）
- 8日 01:30 ◎ ホールデン英中銀金融政策委員会（MPC）委員、講演
- 8日 02:00 ◎ 米財務省、3年債入札
- 8日 04:00 ◇ 3月米消費者信用残高（予想：160億ドル）
- 7-8日 ◎ 4月ロシア消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.3%）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

6 日 13:01 劉中国副総理

「米国との通商合意は、今週はまとまりそうにない」

6 日 15:12 デイマイオ伊副首相

「同盟高官の汚職事件で政権崩壊とはならない」

6 日 16:22 中国外務省

「(米中通商協議について)交渉団は訪米の準備をしている」

「米国が中国と妥協点を見い出せることを望む」

6 日 20:36 トランプ米大統領

「米国は何年もの間、貿易で負け続けている」

「年間 6000 億から 8000 億ドル、貿易で負けている」

「中国に対しては 5000 億ドル負けている。悪いが、もうこれ以上はそうさせない」

「安倍首相と北朝鮮、貿易について電話協議した」

6 日 21:29 アルトマイヤー独経済相

「米中の通商協議がまとまることを望んでいる」

6 日 22:57 安倍晋三首相

「米朝合意の速やかな実現目指しトランプ大統領と一致」

「北朝鮮の飛翔体、日米専門家で協力して分析へ」

6 日 23:03 ハーカー米フィラデルフィア連銀総裁

「今年はせいぜい 1 回の利上げ」

「今年の GDP 成長率は 2%を若干上回る」

7 日 06:01 ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表

「米政府は 10 日に対中関税を引き上げる」

「中国代表団は 9 日に到着する」

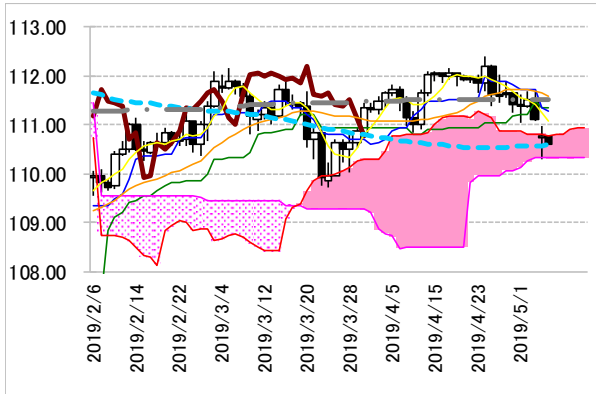
「米国は中国との協議を打ち切らない」

7 日 06:02 ムニューシン米財務長官

「中国との貿易協議の方向は大きく変わった」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

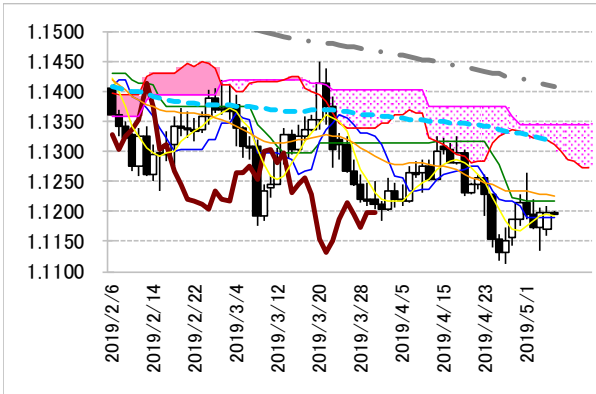


<ドル円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の中で推移していることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかし、「弱気の乖離」によりダブル・トップ（112.14 円・112.40 円）の可能性が示唆され、窓（3 日安値 111.07 円・6 日高値 110.96 円）が下落トレンドの可能性を示唆している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	112.40(4/24 高値)
レジスタンス 1	111.26(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	110.76
サポート 1	110.32(日足一目均衡表・雲の下限)
サポート 2	109.71(3/25 安値)

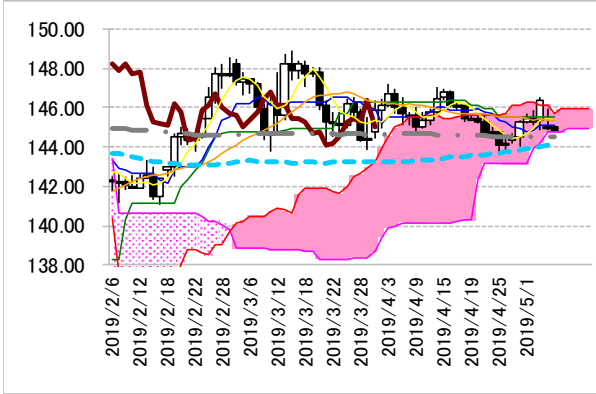


<ユーロドル＝5/1 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線 1.1218 ドルを念頭に置き、5 月 1 日高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1265(5/1 高値)
前日終値	1.1199
サポート 1	1.1112(4/26 安値)

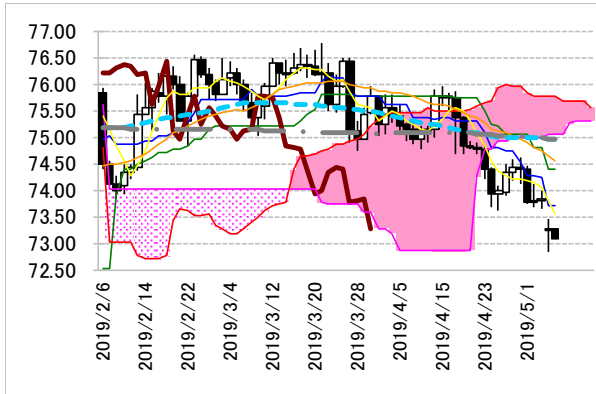


<ポンド円＝一目・雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の中で推移していることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。

本日は、一目・雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	145.74(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	145.05
サポート 1	144.75(日足一目均衡表・雲の下限)



<NZドル円＝一目・基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。窓（3 日安値 73.64 円・6 日高値 73.47 円）を空けて下落トレンドを形成中。

本日は、一目・基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	74.39(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	73.26
サポート 1	72.82(5/6 安値)

